

名 称	2019年度 第19-3回 中国本部役員会		
開催日時	2019年9月21日(土) 13:00~15:30	議事録	2019年9月21日
開催場所	日本技術士会中国本部会議室	作 成	作成者：若岡 信利
役員の出欠 □：出席 △：委任 ■：欠席	<p>□大田一夫 □伊藤 徹 □渡部 修 □木口誠二 □外山涼一 □住居孝紀  □乗安直人 □上田昭彦 △福田直三 □岡村幸壽 □大江清登 □山本和宏  △河野 徹 □中田圭吾 △長原基司 △青原啓詞 □小田宗孝 △三角春樹  □中島泰孝 □川端 誠 □若岡信利 □峯岡静彦 ■桧垣光次 □北浦直子  □平尾繁和 □田中秀典 □田邊信男 △河内義文 □鈴木正範 △今井田敏宏</p> <p>役員総数 30名 出席者 23名 委任状 6名 欠席 1名 合計 30名で役員会は成立</p>		
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前回議事録の確認</li> <li>2. 理事会・総務委員会報告</li> <li>3. 中国本部主要事業について</li> <li>4. 中国本部規則について</li> <li>5. 県支部活動報告について</li> <li>6. 委員会・部会・研究会の活動報告について</li> <li>7. 高専・大学との連携・協力協定について</li> <li>8. 現役若手世代会員に向けた CPD 行事について</li> <li>9. その他</li> </ol>		
配布資料	<p>資料1 第19-2回中国本部役員会議事録(案)</p> <p>資料2.1 理事会報告(9/10)</p> <p>資料2.2 総務委員会報告(8/30)</p> <p>資料3.1 広島例会「第4回中国本部技術士研究・業績発表会」</p> <p>資料3.2 第26回西日本技術士研究・業績発表年次大会【鳥取】 地域産官学(岡山) [2020年9月12日(土)開催予定]</p> <p>資料4 県支部における Skype 中継について</p> <p>資料5.1 岡山県支部</p> <p>資料5.2 山口県支部</p> <p>資料6.1 2019年度中国本部関連の行事開催実績・予定 [委員会活動報告]</p> <p>資料6.2 修習技術者支援委員会</p> <p>資料6.3 青年技術士交流委員会</p> <p>資料6.4 活用促進委員会</p> <p>資料6.5 防災委員会</p> <p>資料6.6 社会貢献委員会</p> <p>資料6.7 男女共同参画推進委員会</p> <p>資料6.8 企画総務委員会 Skype 会議普及小委員会 [部会活動報告]</p> <p>資料6.9 機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会</p> <p>資料6.10 電気電子/経営工学/情報工学部会</p> <p>資料6.11 上下水道部会</p> <p>資料7.1 呉高専と中国本部との連携協力協定</p> <p>資料7.2 岡山理科大学と岡山県支部との包括的連携協力協定</p> <p>資料8 「若手技術者のための AI 入門セミナー」 (機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会) 青年技術士交流会(青年技術士交流委員会) [2019年12月7日(土)開催予定]</p> <p>資料9 緩やかな連携活動団体 島根大学「宋友技術士会」</p>		

名 称	2019年度 第19-3回 中国本部役員会
議 事	<p>はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本部長より「7月に中国本部と呉高専が、8月に岡山県支部と岡山理科大学が連携協定を結んだ」、「10月に全国大会（四国・徳島）が徳島県で、11月に西日本技術士研究・業績発表年次大会が京都府で、来年10月には同大会が鳥取県で開催されるので、参加して欲しい」との話があった。</li> <li>・次に、山本幹事から「病気のため、半年間、活動が出来ず、皆様にはご迷惑をおかけした。これから、活動を再開していきたい」との話があった。</li> </ul> <p>1. 前回議事録の確認</p> <p>「5. 2019年度中国本部委員会委員・部会幹事について」の一部を修正した。  なお、何か異議があれば、速やかに事務局に申し出のこと。</p> <p>2. 理事会・総務委員会報告</p> <p>2-1 理事会報告：木口理事（副本部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理の議論においては継続性や専門性が重要であることから、倫理委員会内に倫理に造詣の深い会員で構成する「倫理綱領検証ワーキンググループ」を設けて検討を進める。</li> <li>・IPD ワーキンググループ（2018年7月設置、研修委員会）の初年度の成果報告が行われ、引続き、二期目も設置されることとなった。</li> <li>・工事監査支援ワーキンググループの2018年度の成果報告が行われ、引き続き支援要請があることから今期も活動を継続することとなった。なお、工事監査1件当たり約13.4万円と低額なため、今後の活動をどうするかについて議論があった。</li> <li>・「本会の組織・役職名等の英文表記に関する規則」の改定が行われ、英文名刺サンプルが示された。今後、中国本部版の英文名刺のサンプルを作ることとなった。</li> <li>・会員の入退会状況について報告があった。（微増）</li> <li>・第46回技術士全国大会（四国・徳島）参加申込者数の説明があった。  （中国本部からの参加者は50名超となり、予定数を達成する予定。全体では、8月末の時点で467名であり、最終的に500名を超える予定）</li> <li>・日本技術士会と外部の関係諸団体との「緩やかな」連携の推進（概念図）の説明が行われた。「技術士による一般の県技術士会、協会等」および「一般技術者も含めたNPO、一般社団法人等」との連携は他の団体に比べて難しいとの説明があった。</li> </ul> <p>2-2 総務委員会報告：上田企画総務委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度技術士第二次試験の申し込み数は30,690名（前年比2,054名減）であったこと、うち女性申込者は1,575名（前年比94名増）であったことが報告された。</li> <li>・行事後援等の名義使用に関しては、現在は統括本部の了解（学協会を除く）が必要であるが、今後は地域本部の了解幅を広げていきたい。（地域本部からの要望）</li> </ul> <p>3. 中国本部主要事業について</p> <p>3-1 広島例会「第4回中国本部技術士研究・業績発表会：岡村事業委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会の次第について審議が行われた。一部の発表については未決定であるため、早急に、決定していくこととなった。</li> <li>・見学会の説明（峯岡事業副委員長）がPPT資料により行われ、審議の結果、一部修正のうえ決定された。</li> </ul>

名 称	2019年度 第19-3回 中国本部役員会
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学会当日の午前中に役員会が開催されるため、役員は午後から合流する。</li> <li>・決定された次第に基づき、会場の予約および会の案内などを開始することとなった。</li> </ul> <p>3-2 第26回西日本技術士研究・業績発表年次大会【鳥取】：伊藤副本部長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年次大会の計画概要の説明が行われ、今後、詳細について検討していく。</li> <li>・大会テーマについて趣旨説明を付け加えることとなった。</li> <li>・第1分科会（4編）及び第2分科会（4編）については、西日本の4地方本部が各1編ずつ担当する方向で調整していくこととなった。</li> </ul> <p>4. 県支部におけるWeb中継について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回説明時の文面から「CPD時間を年20時間以上」という条項を削除した修正案の説明があり了承された。</li> <li>・Skype中継は、約2年後にシステム変更となるため、名称をWeb中継に変更する。</li> </ul> <p>5. 県支部活動報告について</p> <p>5-1 岡山県支部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県支部が開催した防災講演会（9月7日）の新聞記事が紹介され、大田本部長から「広島へのWeb中継も検討して欲しい」との要望があった。</li> <li>・2020年9月に開催される「地域産学官と技術士合同セミナー（担当：岡山県支部）」において岡山理科大学との連携を検討していく。</li> </ul> <p>5-2 山口県支部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山口県支部の事業報告（年次大会等）が行われ、了承された</li> </ul> <p>5-3 鳥取県支部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県支部の事業報告（防災学習に重点）が口頭にて行われた。</li> </ul> <p>6. 委員会・部会・研究会の活動報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会、部会、研究会から活動報告があった。その中で、「東広島地域の生産・研究・環境関連施設の見学会（10月30日）の見学先について意見交換が行われた。</li> <li>・中国本部Skype（今後、Webに名称変更）会議普及小委員会から、①Skype中継に関する改善提案事項（統括アドバイザー制度の創設など）、②「Teams」への変化対応、③最近のWeb障害事例と対応事項などについて説明があった。</li> </ul> <p>7. 高専・大学との連携・協力協定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中国本部は、7月26日、呉工業高等専門学校との間で、人材育成や社会貢献活動に関する連携協定を締結した」との報告があった。（大田本部長）</li> <li>・「中国本部岡山県支部は、8月5日、岡山理科大学との間で、学生の技術士資格の取得促進に向け連携協定を締結した」との報告があった。（田邊岡山県支部長）</li> </ul> <p>8. 現役若手世代会員に向けたCPD行事について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「若手技術者のためのAI入門セミナー（11月23日）の開催次第」、「青年技術士交流会（12月7日）の開催次第」、「行事補助費」についての説明があった。</li> </ul> <p>9. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国本部は、宍友技術士会（島根大学、8月31日設置）と緩やかな連携を行うこと</li> </ul>

